



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)
見えないところで進むイスラエル VS イラン戦争
世界は一瞬で変わる

2024/04/27

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。



ざっくりダニエル書を連続講演でやっていますが、「どこかで見たことあるなあ」と思う人が聴衆席におられたんですね。終わって、話しをして分かりました。

ティムクリ君ですよ。

ティムクリ君はクリスチャンユーチューバーで 24 歳。

3 年前にクリスチャンになって、まだクリスチャンとしてのキャリアはそんなに長くないんですが、イエスのことが好きで好きでたまらない。その気持ちが伝わって来るんですね。意識が高く、イエスを熱烈に愛している若者が、顔出して YouTube をし、色んなところに情報を発信しているんです。

ほんとに清々しい人でした。『ティムクリ』。

まだご存じない方は、ぜひご覧になってください。

そして、チャンネル登録をぜひお願いします。

彼と話したのは、イスラエル・イランのことやキリストを巡る様々なことですが、今日はそれを踏まえながら、3 点ご紹介します。

① 「イスラエルはイランの攻撃を受けたが、99%は撃墜したので被害を被っていない」と一般的に言われている。しかし、目に見えない被害を受けている。

② それに対するイスラエルの反撃の意味と、これがイランにどんな作用を与えているのか。これから報復がエスカレートするのか。

③ 今世界で起こっていることは何か。

① イスラエルは目に見えない被害を受けた

事の発端としてよく説明されるのは、「4 月 1 日にシリアのイラン大使館をイスラエルが攻撃した。それに対する自衛権発動だ」という解説です。

大使館の敷地内は、その大使館の国の領土・国土と見なされます。

例えば、シリアにあるイラン大使館の敷地内は、イランの主権が及ぶ範囲です。

他国が勝手に足を踏み入れることはできません。「そこを攻撃するのは、イラン本土を攻撃したのと同じことじゃないか。イスラエルは実にけしからん国だ！」

何度も言っているように、イスラエルはイラン大使館を攻撃してませんから！

この写真、ティムクリ君も出してましたが、左がイラン大使館。

爆撃で破壊されたのは右側で、革命防衛隊のビル（赤丸で囲まれたところ）。

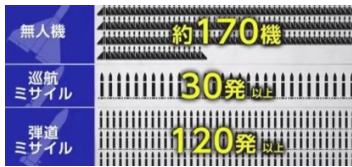
革命防衛隊はイランの軍隊ですが、イラン軍からは独立しています。



イラン革命が起こった時、ホメイニが亡命先のフランスから帰って来て、革命を成功させました。ホメイニの前はパーレビ国王がイランを支配していた、イラン国軍があったのですが、革命で新しい政権ができた時に、パーレビ国王への忠誠心が残っているのではないかとホメイニが疑念を持ち、信用できないということで、イラン国軍とは別に直轄部隊を作ったんです。これが革命防衛隊です。

革命防衛隊には陸軍・海軍・空軍と、特殊部隊のゴドス軍があります。ゴドス軍のトップが数年前、トランプ政権の時に暗殺されました。スレイマニ將軍。そのゴドス軍の幹部7人が、イラン大使館の隣の革命防衛隊のビルに集まっていることが分かったので、イスラエルはそこを攻撃したんですね。

革命防衛隊こそは、ヒズボラやハマスを強化し養成している組織にほかならない。今、イスラエルはガザ問題で南で戦っていますが、同時に、北のヒズボラからも攻撃を受けてるんですね。それを総指揮する、総司令のような人物たちが集まっているので、彼らを叩いたということです。



それについて、イランがイスラエルに反撃しました。無人機約170機、巡航ミサイル30発以上、弾道ミサイル120発以上。合計320発以上のドローン・ミサイル複合攻撃をイスラエルにしたんですが、イスラエルはこれを99%撃墜しました。



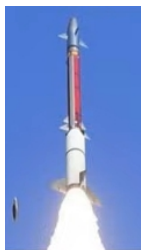
イスラエルによって撃ち落とされたとみられるイラン製弾道ミサイルの残骸が浜辺に打ち上げられた。

「イスラエルによって撃ち落とされたとみられるイラン製弾道ミサイルの残骸が浜辺に打ち上げられた。」
めっちゃくちゃデカイですよ。

この弾道部分に爆薬があったわけで、もし撃墜しなければ、こんな物が一般市街地やイスラエルの軍隊の基地に撃ち込まれたら大ダメージです。なので、撃ち落とさねばならない。撃ち落としました。99%。これ、3段構えで撃ち落としたんですね。

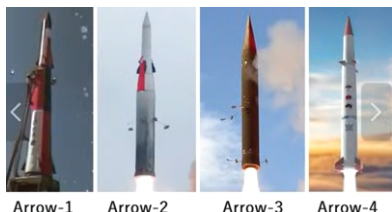


短距離のミサイル・ロケット弾には、防空システムのアイアンドームがあります。打ち上げられている、ペンのように細いミサイルがアイアンドームです。



そして、アイアンドームよりも飛距離が長い、射程80キロの短距離ミサイル撃墜システムがあります。ダビデ・スリング。スリングは石投げ器のこと。ダビデ王は羊飼いで出身です。彼は石投げ器で熊やライオンを100発100中でやっつけ、自分の羊を守りました。やがて巨人ゴリアテと対戦した時も、石投げ器で石をビューンと飛ばして、それがゴリアテの眉間にバーンとめり込んでぶっ倒した、という記事が第一サムエル記に出て来ます。

ダビデ・スリング。これによって、アイアンドームでは届かない所から飛んで来る物を撃ち落とすんですが、中距離・長距離のミサイルには対応できません。



中距離・長距離のミサイルを撃ち落とすためには、アローミサイルというシステムがあります。次々バージョンアップされて、今アロー1, アロー2, アロー3, アロー4まであります。弾道ミサイルは成層圏を突破して、宇宙空間からもう一度成層圏・大気圏に再突入して入ってくるので、ものすごいスピードで突入しますが、それを成層圏や宇宙圏で撃ち落とすための防空ミサイルです。

この3段構えで水も漏らさぬ体制を取り、イランの空爆攻撃を阻止したんですね。それは良かったんですが、問題は費用なんですよ。アイアンドームは1発5万ドル、770万円。1発撃つ毎に770万円がパーン消える。ダビデ・スリングは1発100万ドル。154円計算で1億5400万円。アローミサイル、今回使われたアロー2は1発350万ドル、5億4000万円。アロー3に至っては1発6200万ドル、96億円ですよ。この結果、イスラエルは今回の防空システム起動によって、1560億円を使ってしまった。これは、イスラエル国防費全体の6.2%に当たるんです。

イランが撃ったシャハドというドローン（無人自爆機）は1機2万ドル、310万円。つまり、撃ち込んで来た安い攻撃兵器を阻止するために、比べ物にならない高価な兵器で撃ち落とす。

国防費全体の6.2%か6.3%を今回使ったと言うんですが、アメリカ・イギリス・フランス・ヨルダン・サウジアラビアが、イスラエルに代わって、自国上空や自国の識別圏の中に入っているのを落としてくれたから、これだけで済んだんですよ。もしイスラエルが全部撃ち落とすことになれば、はるかに2倍から3倍の費用が掛かったと言われてます。

今回1560億円掛かりましたが、同じようなことがあと15回起これば、イスラエルの国防費はすっからかんになるんです。国防費が底をついてゼロになったところに、本格的なものが来た時どうするんですか。一見、やって来た物を全部撃墜して、「イスラエルのハイテクすごい！」となってますが、目に見えないダメージを確実に受けたんですね。これを繰り返させてはなりません。

② イスラエルの反撃の意味とイランに与えた作用。報復はエスカレートするのか。イスラエルはイランに反撃しました。イスファハン州の核施設を爆撃したんです。特にナタンズという核施設はイラン最大で、約3000人の研究者が勤務し、今年2月に4台目の研究用小型原子炉が稼働と書いてあります。

天然ウランは0.7%以下なので、全然使い物になりません。

濃縮することで原子力発電所の燃料棒にすることができですが、そのためには3%から4%に濃縮しなければなりません。今イランが到達している濃縮度は昨年で84%です。平和利用のために84%もの高濃度ウランなんか要らないんですよ。100%にほど近くなった時に初めて、濃縮ウランは原爆の材料になるんです。イランは核兵器開発のために、ウラン濃縮を行って来たんですよ。



ナタンズの周りにイスファハンなど4つの施設がありますが、今回イスラエルは核施設直撃ではなく、核施設を守る防空レーダーを叩いたと言われています。

イランは、防空レーダーを攻撃したミサイルを1発も撃ち落とせませんでした。

イスラエルは99%撃ち落とし、イランは1発も撃ち落とせなかった。

イランにとって核施設は最重要に大事な場所で、しかも、イスラエルからの反撃を予期しているので、最高度の警戒態勢を敷いていたと思いますよ。

いつも以上にレーダー網をしっかり働かせて、外部侵入がすぐキャッチできるように準備していた。にもかかわらず、レーダー網がズタズタにされてしまったんです。

イランが持っているレーダー網に全く感知されずに、イスラエルのミサイル攻撃が成功した。ということは警告なんですね。

「イランよ、これ以上エスカレートさせるなら、我々はいつでも核施設を直撃する能力を持っている。」それを見せつけたんです。

イランは内心、震え上がっていると思いますよ。



革命防衛隊が行進してます。空爆があった。報復した。再報復してエスカレートするんじゃないか。

いや、イランはイスラエルの警告は本気だと、よく分かっていると思います。

というわけで、ここでは一旦小休止すると考えるのが、常識的な判断ではないかなと思います。

③ 中東だけでなく、今、世界で起こっていること

4月17日水曜日の早朝、ニューヨークのシナゴグが放火されて大炎上しました。アメリカの主要都市で、ユダヤ教の施設が襲撃されています。また、ユダヤ人学生が目の敵にされています。



これは、エール大学にユダヤ系の学生が入ろうとした時、学生たちが人間の鎖を作って、ユダヤ人学生をキャンパス内に立ち入れないように封鎖しているんです。

これは動画で、切り取り画像をお見せしてるんですね。

1939年、ウィーン大学にユダヤ人学生が入れないようにし、そこからどンドンエスカレートして、反ユダヤ主義が広がって行ったことを思い起こさせます。



ナチスの旗の隣で、アメリカの星条旗がたなびいています。1939年、ベルリンオリンピックがありましたね。第二次世界大戦前、最後のオリンピックです。その時既に、ナチスがユダヤ人を迫害していることを、世界中みんな知ってるんです。ところが、西側の多くの国々は、アメリカも日本も含めてボイコットしませんでした。

ベルリンオリンピックはヒトラーの宣伝オリンピック。ナチスがいかに素晴らしいかを、スポーツの祭典を通して世界中にPRする大会でした。

ナチスの旗と交互に、世界中の旗が掲揚されてたんですね。

ナチスはこれを見て、自信を深めたんですよ。

「世界は、我々がユダヤ迫害をしていることを知っている。ユダヤ迫害を本当にけしからんと思ってるならボイコットするはずだ。だけど、だれもボイコットしなかった。ユダヤ人迫害をエスカレートさせても、世界はそんなに大きな反動や行動を起こさないだろう」と見込んで、ユダヤ人迫害に拍車が掛かって行ったんです。



これはコロンビア大学ですかね。間違っていたらすみません。アメリカのアイビーリーグの大学ですが、今このような反イスラエル・親ハマスの集会や運動が、非常に優秀な大学で広がっています。



これも同じです。ボストンの街中で、反イスラエル集会の決起大会みたいなのが行われるんですね。

ハーバード大学、コロンビア大学、エール大学などの優秀な大学で、なぜ反イスラエルの学生たちが、こんなにわんさか出て来るのか。

歴史の中で、かつてこういう事があったということ、今こそ思い起こすべきです。

ドイツでナチスが政権を取る前から、ユダヤ人への反発がどんどん出て来ました。

反ユダヤ主義のデマの雑誌や書籍が次々出て来たからです。

ヒトラーは反ユダヤ主義雑誌オッサラを読んで成長しました。

若い時に陰謀論の頭になってしまうんです。「地下組織が世界を動かしている。」

「地下組織はユダヤ財閥によって動いている。」やがてユダヤ人への反発。

根拠があろうがなかろうが、はじめは内緒だったのが段々エスカレートし、その時「ダメでしょ！」という声がないのを見て、勢いついて行ったんです。

かつての反ユダヤ主義はこそこそ始まったけど、今は優秀な学生たちが声を張り上げて、反イスラエルを叫んでいる。

叫ぶのは、フェイクニュースに汚染されてしまっているからです。

今のイスラエルは、パレスチナの犠牲の上に成り立っていると思い込んでいます！

他人の犠牲の上で繁栄している国がイスラエルだと思い込んでいます！

そういう説明を浴びるように聞いたからです。

自分で歴史を細かく調べて、遑って考えない。左派の大学、先生たちがそう教えるので、尊敬する先生に教えられたら、当然そうなのかとなるじゃないですか。

今のイスラエルは何に基いて出来たのか。
戦争によるのではなく、国連のパレスチナ分割決議に基づいて出来たんです。
アラブ人にはアラブ人の国を造り、ユダヤ人にはユダヤ人の国を造る。
エルサレムはどちらにも属さず、国際管理都市にする。
これが 1947 年 11 月 29 日、国連の圧倒的多数で可決されたんです。
イスラエルは、これに基いて建国宣言をしました。

このイスラエルになだれ込んで、一方的に宣戦布告して攻め込んだのは、アラブとその連合軍です。イスラエルが攻め込んだのではないですよ。
アラブがイスラエルに攻め込んだ。攻め込んだ方が負けた。攻め込まれた方が勝った。その結果、難民が出て来たんです。

攻め込んで来たアラブの連合軍が、イスラエルにいるアラブ人に言いました。
「しばらくの間、出て行きなさい。パレスチナ地域から出て行ったらイスラエルを全滅させるから、後で帰って来なさい。」
負けてしまったから帰れなくなったんですよ。それが難民と言われる人たちです。

そんなウソに騙されずにイスラエルに留まっていたアラブの人たちは今、イスラエルでイスラエル国籍を持ち、イスラエルでビジネスを成功させ、イスラエル人と同じような生活水準を共有し、イスラエル国会でアラブの政党を作り、国会議員として活動してます。現実を見ないとダメですよ。作られた物語の歴史ではダメですね。

イスラエルはその後、世界中の様々な調停国や国連のアドバイスを受けて、アラブと二国家共存のためのテーブルに着きましたが、いざサインの時になるといつも、パレスチナ側が断って来たんです。
いつまでも国を持たずに難民状態にしておくことで、イスラエルを加害者、残酷な人々と見せつけることができるからです。

アラブはなぜ和平しなかったのか。和平するのが怖かったんです。
イスラエル全滅を誓って結成した団体のトップがパレスチナ代表、アラファトです。
過激思想で部下たちを洗脳しまくっていたので、今さら路線変更したら、命なんぼあっても足りない。「だから私はそれをしない」と、本人の口が言ってるんですよ。

今ガザ支配しているハマスは二国家共存を望んでいませんよ。
ハマスの目標はイスラエルを全滅させること。そんなところと、どうやって共存できますか。ハマスが今日本にいたら、日本もイスラエルがしているのと同じことをするんじゃないですか。
国家を滅ぼそうとする団体・テロ組織が武器を持っていたらそれを取り上げ、国家を転覆させようとするのを断罪するのは、どの国でも当たり前のことだと思います。

歴史を説明しても、はじめにそのイメージがこびりついていたら、なんぼ言ってもダメなんです。だけどこの間、勇気が湧いてくるような動画があったんです。飯山陽（いいやま あかり）さんに、「イスラエル支持やめろ！虐殺支持者か！」と、一般市民がプラカードを持って嫌がらせするんですよ。翼の党じゃないです。あれはもう論外。

そしたら、アメリカから来た中年のおばさまが「ちょっとアンタ、何やってんの？アンタ、パレスチナ分割決議知ってんの？決議案を両方とも呑んでたら、両方とも国が出来たのに、イスラエルは呑んだけど、アラブは呑まなかったじゃない。すぐに襲いかかったのはどっちなの」から始まって、中東問題の「いろはのい」からダーッと説明するんです。

この方はどれ一つ答えられないんですね。そして、自分の無知を棚に上げて、「イスラエルが今やっていることは、パレスチナの権利を奪い取っている！」「そんなことも知らないの?!」と笑われているんですけど。善意の人かもしれないけど、それでは利用されるだけです。別の大きな力に。

YouTubeで言っても言ってもあまり効果ないかと思いつつも、黙ってたらダメです。ナチスが反ユダヤ主義をどんどん広げた時、ユダヤ人たちは声を上げなかった。一部は声を上げたかもしれないけど、大きな声で火を消さなかった。それが大火になっていき、ものすごい炎になった時、もはや抑えることはできなかったんですね。

世界って、本当に一瞬で変わるなあと思います。今まで「反ユダヤ主義けしからん！」と言ってたのに、今やヨーロッパでもアメリカでも世界中で、反イスラエル・反ユダヤ主義が堂々と述べられる。いよいよ、聖書預言の舞台が出来上がりつつあるのではないですか。私はそんな時代に生かされている者として、効き目があるがなかりうが、やはり本当のことを伝えていかなければと腹をくくっていますので、これからも情報を発信していきたいと思っています。

固い話ですが、これからもぜひ、お付き合い頂けたら嬉しいです。チャンネル登録もお願いします。ではまた ごうちゃんねるでお会いしましょう。皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！